

平成26年度 第2回刈谷市行政評価委員会

(1) これまでの具体的な成果等の紹介について

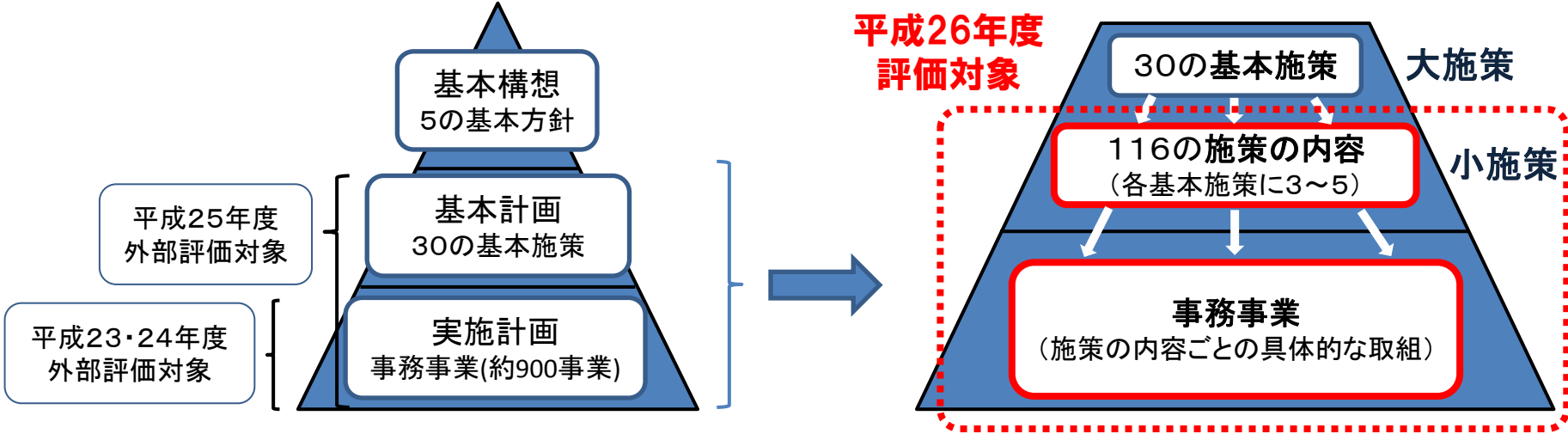
(2) 外部評価対象小施策の選定について

(2-1) 外部評価の実施方法

◆ 第1回行政評価委員会の結果

- 「施策の内容(小施策)」と「事務事業(概ね3~6事業)」を一単位として、小施策の推進状況と個々の事務事業の貢献度を総合的に評価する。 ➡ **小施策評価**
- 外部評価の日程 2日間 ⇒ 1日間(7/25) ➡ **6~7小施策を選定**
- 外部評価の候補とする小施策は、H26施策評価シートで**重要度「◎」**としたものを中心に提示 ➡ **施策推進上、課題となっている小施策も候補**

第7次刈谷市総合計画の体系



(2-2) 外部評価対象小施策の選定方法

外部評価の対象候補小施策一覧の見方①

- 116の全小施策から、重要度「◎」のものを中心に、各大施策から1小施策をピックアップ
- さらに市民意識調査結果から、重要度が高く、満足度の低い大施策、「カテゴリーA」に分類されている大施策を中心に、市が課題と考えている小施策をピックアップ(9の小施策)

資料3-1

平成26年度外部評価の対象候補小施策一覧

基本方針	30の基本施策(大施策)	頁	H25評価	施策の内容(小施策) うち重要度「◎」or課題がある小施策	(小施策の選定理由)	【参考】平成24年度 市民意識調査					
						項目番号	重要度		満足度		カテゴリー
							ポイント	順位	ポイント	順位	
基本方針1	(都市環境分野)										
候補 小施策数 9 /33	1-1 市街地・住環境	48		○ 計画的な土地利用		1	3.89	9/33	3.30	8/33	B
	1-2 道路・交通	50	済	◎ 道路の整備	・「A」の施策には、 課題をピックアップ ・高い市民満足度 となる省エネ・新エ ネ施策は？	2	3.77	15/33	3.20	10/33	B
	1-3 公園緑地・緑化	52	済	◎ 緑化の推進		3	3.76	16/33	3.28	9/33	B
	1-4 河川・池沼	54		◎ 治水・雨水対策		4	3.65	20/33	3.42	4/33	D
	1-5 上水道	56		◎ 災害対策の充実		5	3.31	31/33	2.98	24/33	C
	1-6 下水道	58		◎ 下水道施設の保全と災害対策		6	4.08	2/33	4.02	1/33	B
	1-7 循環型社会・環境保全	60		◎ ごみの減量化		7	3.92	8/33	3.72	2/33	B
	1-8 低炭素社会	62		○ 地球温暖化対策の推進		8	3.79	14/33	3.38	6/33	B
				課 エネルギーの有効利用		9	3.73	18/33	3.05	18/33	A
				満足度を上げる革新的な省エネ・新エネ推進方策の模索							
基本方針2	(教育文化分野)										

- 「◎」を中心に、それぞれ1つピックアップ
- 「○」は「◎」がなく、最も施策推進に関連するもの

- 重要度・満足度のポイントと順位を掲載
- カテゴリーは資料3-1の下図で分類されたもの

(2-2) 外部評価対象小施策の選定方法

外部評価の対象候補小施策一覧の見方②

・「◎」なし「課題」ありのため、「課題」を優先
 ・日本トップチームが数多く存在する本市にとっての効果的なスポーツ振興策を考えたい。

・指標にある青少年の意識の向上だけでなく、全年齢層の満足度を上げるため、地域による青少年育成が重要ではないか？

基本方針	30の基本施策(大施策)	頁	H25評価	施策の内容(小施策) うち重要度「◎」or課題がある小施策	(小施策の選定理由)	【参考】平成24年度 市民意識調査					
						項目番号	重要度		満足度		カテゴリー
							ポイント	順位	ポイント	順位	
基本方針2(教育文化分野)											
候補 小施策数 7 /23	2-1 学校教育	66	済	◎ 教育内容の充実		10	3.88	10/33	3.17	12/33	B
	2-2 青少年育成	68		○ 家庭教育の推進		11	3.83	13/33	3.03	19/33	A
				課 青少年の自立支援と社会参加の促進	市民満足度を上げる地域による青少年育成方法の模索						
	2-3 生涯学習	70		○ 学習機会の充実		12	3.62	22/33	3.16	14/33	D
	2-4 スポーツ	72		課 スポーツ活動プログラムの充実	日本トップチームを有する企業との効果的な連携方法の模索	13	3.60	24/33	3.31	7/33	D
	2-5 文化・芸術	74		○ 鑑賞・体験の機会づくり		14	3.44	27/33	3.19	11/33	D
2-6 歴史・文化財	76		◎ 歴史の啓発		15	3.34	30/33	3.11	15/33	C	
基本方針3(産業振興分野)											
候補 小施策数 5 /12	3-1 農業	80		◎ 担い手の育成		16	3.55	26/33	3.00	22/33	C
				課 食育の推進	指標「食生活に気をつけている市民」低下						
	3-2 商工業	82	済	◎ 工業の振興		18	3.74	17/33	3.56	3/33	B
				◎ 商業の活性化		17	3.62	22/33	3.00	22/33	C
3-3 観光	84		◎ 「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信		19	3.38	28/33	2.83	33/33	C	

・「A」ではないが、指標「食生活に気をつけている市民」が低下しているため、課題としてピックアップ

・「商工業」は、「商業」「工業」が全くの別分野であるため、例外的に2つの「◎」をピックアップ。

(2-2) 外部評価対象小施策の選定方法

外部評価の対象候補小施策一覧の見方③

・「A」だが、社会保障事務のほとんどが法定受託事務であり、唯一そうでない事業がある小施策を課題としてピックアップ

・高い市民満足度となる効果的な支援はどのようなものか？

・指標「福祉ボランティア活動参加市民」が低下しているため、課題としたが、「◎」と一致

基本方針4(福祉安全分野)												
候補 小施策数 12 /34	4-1	健康づくり	88		◎ 健康の増進		20	4.12	1/33	3.41	5/33	B
	4-2	地域福祉	90		◎ 地域福祉推進体制の充実	指標「福祉ボランティア活動参加市民」低下	21	3.84	12/33	3.09	16/33	A
	4-3	次世代育成・子育て支援	92		◎ 幼稚園・保育園の整備・充実		22	3.96	6/33	3.17	12/33	B
	4-4	高齢者福祉	94	済	○ 高齢者の社会参加・生きがいづくり		23	3.99	5/33	2.97	26/33	A
					課 高齢者世帯への生活支援	満足度を上げる効果的な高齢者支援の模索						
	4-5	障害児・者福祉	96		○ 社会参加と自立支援	健常者の満足度も上げるため、積極的な社会参加が必要	24	3.88	10/33	2.93	27/33	A
	4-6	社会保障	98		課 福祉医療の推進	唯一、法定受託でない市独自事業がある小施策	25	3.93	7/33	2.93	27/33	A
	4-7	防災	100	済	◎ 防災意識の高揚		26	4.02	4/33	2.98	24/33	A
					課 災害に強いまちづくり	指標「災害に強いまちと思う市民」低下						
	4-8	防犯・交通安全	102	済	◎ 地域の安全性の強化		27	4.03	3/33	2.91	30/33	A
					課 地域の安全活動の推進	満足度を上げる効果的な活動方法の模索						
	4-9	市民生活	104		◎ 市民相談の充実		28	3.63	21/33	2.92	29/33	C

・指標「災害に強いまちと思う市民」が低下しているため。

・交通立番、防犯パトロールなどの活動は、やらされ感、マンネリ化のイメージが強いのでは？ しかし、日々の積み重ねが重要。効果的な活動方法とは？

◆ 外部評価の対象候補小施策一覧の見方④

基本方針5(計画推進分野)													
候補 小施策数 4 /14	5-1	参加・協働	108		◎	地域活動の推進		29	3.36	29/33	3.07	17/33	C
	5-2	共生・交流	110		◎	多文化共生の推進		30	3.26	33/33	3.02	20/33	C
	5-3	情報共有	112	済	◎	広報・広聴の充実		31	3.27	32/33	3.01	21/33	C
	5-4	行政経営	114		課	効率的な行政運営	特に業務改善、提案制度の効率的な進め方の模索	32	3.56	25/33	2.89	31/33	C
								33	3.68	19/33	2.88	32/33	C

・民間での実践から波及した業務改善、提案制度を中心に、効率的な行政運営方法について、外部の視点から検証し、評価していただくことは重要。

(2-3) 対象小施策選定の際の視点

◆ 選定のポイント

- 市民が公共に求める施策として、**重要度が高いもの**
 - ・市民意識調査結果から、**カテゴリ「A」**または**「B」**のもの（参考として具体的な順位も掲載）
 - ・ただし、30の基本施策すべてについて、ポイント(平均値)が「ふつう(=3ポイント)」以上であるため、市民の意識として**「重要でない分野はない」**と捉えることもできる。
- 施策に対する市民の実感を示す“ものさし”である**満足度が低いもの**
 - ・市民意識調査結果から、**カテゴリ「A」**または**「C」**のもの（参考として具体的な順位も掲載）
 - ・中でも特にポイント(平均値)が3以下のものは、「ふつう」以下の満足度と捉えられる。

◆ 事務局意見

- **「済」**にもご配慮いただいた選定をお願いしたい。
 - ・昨年度の外部評価対象であった施策(**「済」**)は、昨年度の選定結果から委員の皆様の興味が高い施策であり、**フォローアップでご評価をいただくことも重要**。
 - ・しかし、全基本施策について内部評価は実施したところであるが、外部評価をいただいていない施策もたくさん残っており、事務局としては**全基本施策について広くご意見を頂戴したい**ところ。
- 全委員の投票の結果、**上位6位**までの得票数であった小施策を外部評価の対象とする。
なお、極端な偏りを避けるため、**1基本方針で最大3つの小施策**までの選定としたい。
- 投票の結果、得票数が**同数の場合は、委員長**の判断としたい。

(2-4) 外部評価対象項目の投票・決定方法

◆ 投票方法

- 資料3-2の表の右側の欄に、対象としたい小施策を「10個」選び、「○」をつけてください。
- 提出はFAXをお願いします。提出期限は「5/28(水)」とさせていただきます。

資料3-2

基本方針	30の基本施策(大施策)	H25評価	市民意識調査結果カテゴリー	施策の内容(小施策) うち重要度「◎」or課題がある小施策	対象とするものに「○」
基本方針1(都市環境分野)					
候補 小施策数 9 /33	1-1 市街地・住環境		B	○ 計画的な土地利用	
	1-2 道路・交通	済	B B	◎ 道路の整備	
	1-3 公園緑地・緑化	済	D	◎ 緑化の推進	
	1-4 河川・池沼		C	◎ 治水・雨水対策	
	1-5 上水道		B	◎ 災害対策の充実	
	1-6 下水道		B	◎ 下水道施設の保全と災害対策	
	1-7 循環型社会・環境保全		B	◎ ごみの減量化	
	1-8 低炭素社会		A	○ 地球温暖化対策の推進 課 エネルギーの有効利用	

◆ 決定方法

- 得票数が上位6位までの小施策を選定。
- 結果は、集計後(6月上旬頃)に各委員に通知します。